

## 達成動機の研究：宮本美沙子先生を偲んで

林 潔（白梅学園短期大学）

手元に、一冊の本があります。

宮本美沙子編著 「達成動機の心理学」（金子書房）

この本で、よく勉強をしたな。

宮本先生とは、ときどきいくつかの会の帰りにご一緒させていただきました。雑談の中ではありますが、おそらくは異論をお考えのような話をしても、辛抱強く聞いていただいたことが印象に残っています。

先日ある会合で、日本女子大学の桜楓会館におりましたときに、窓越しに宮本先生が何人かの方々と談笑されながら会館に来られたのをお見受けしました。それが、先生のお姿をうかがった最後になってしまいました。

本学会名誉会員、元日本女子大学学長・理事長宮本美沙子先生は、平成25年10月6日85歳で逝去されました。

宮本先生は昭和3年にタイのバンコクで誕生され、昭和20年旧制日本女子大学校に入学され、昭和23年のご卒業後、昭和24年に同校家政科育児科の助手に就任されました。そして昭和31年日本女子大学家政学部児童学科

講師、助教授を経て、昭和50年教授に就任され、平成5年から13年まで日本女子大学学長および理事長の責を担われました。平成8年には日本女子大学名誉教授、平成13年勲三等宝冠章叙勲、平成25年には従四位に叙位されています。昭和33年にアメリカのThe Merrill-Palmer Instituteを修了され、昭和34年にBrandeis University大学院で心理学の修士を、昭和55年には東京大学から博士（教育学）を取得されました。

昭和63年の文部省大学設置・学校法人審議会専門委員に就任されてより、平成12年の文部省国立大学などの独立法人化に関する調査検討会議財務会計制度委員会委員ご就任までに、法務省中央更正保護審査会委員、科学技術庁科学技術会議専門委員、男女共同参画推進連携会議委員などの多くの審議会委員を歴任されています。

また本学会では昭和61年より平成9年まで、常任運営委員として学会の運営にあたられました。

### □主要研究業績

#### 博士論文

昭和55年 達成動機づけに関する一考察—達成動機づけにおける手段的活動について 東京大学

#### 修士論文

昭和34年 Human growth: Through the view point of zen and play therapy, Brandies University



## □主要編・著書

- 昭和 54 年 「達成動機の心理学」 金子書房  
昭和 56 年 「やる気の心理学」 創元社  
平成 5 年 「ゆとりある『やる気』を育てる」 大日本図書  
平成 14 年 「全人教育を願って」 金子書房

## □主要論文

- 昭和 54 年 Achievement motive of Japanese children and youth. 日本女子大学紀要・家政学部, 26.  
平成元年 The concept of achievement motive among Japanese college students through the behavior characteristics. *Japanese Psychological Research*, 31, 2.  
平成 4 年 The concept of achievement motive among Japanese children as shown through behavior characteristics of their peers. *Japanese Psychological Review*, 34, 3.  
平成 16 年 パーソナリティのダイナミズム—達成動機づけの視点から パーソナリティ研究, 13, 1.

日本女子大学大学葬の追悼冊子の冒頭に、平成 10 年度卒業式告示「謙虚さを伴ったリーダーシップに期待して」と題する宮本先生からのメッセージが掲載されています。三隅二不二氏の PM 理論の紹介のあと、一般にリーダーというと課題遂行機能が強調されるように見えるが、という文脈で、次のように結ばれています。

しかし、本当のリーダーには、「謙虚さ」という資質が必要だと私は思うのです。この、「謙虚さ」というのは、周りの人や物との関係に心を開くことなのです。それにより、あなたの持ち味をフルに生かして創意を発揮できるのです。

このお考えが、宮本先生の達成動機研究の原点であり、結論といえるのでしょうか。

なお本追悼文については、本学会終身会員で桜楓会（日本女子大学同窓会）元理事 松山依子先生にご援助をいただきました。